

令和7年度 評価から評定への総括方法

(1) 評価：観点別評価

- A：十分満足できる
- B：おおむね満足できる
- C：努力を要する

各観点の評価規準

各教科の評価規準による

各観点の評価材料

定期考査の結果・提出物・作品・実技など
評価材料がない場合は斜線「/」となります

(2) 評定：絶対評価

- 5：特に程度の高いもの
- 4：十分満足できる
- 3：おおむね満足できる
- 2：努力を要する
- 1：一層の努力を要する

評価		評定
A	5	3
	4	
B	3	2
C	2	
	1	

達成度 [%]

(3) 評価から評定への算出方法

観点別評価を数値化して達成度で総括する

- ① 観点別評価を集計する
- ② 集計値を100%に換算し、評価換算を算出する
- ③ 基準に従って、評価換算をもとに評価標語 [A・B・C] を決定する
- ④ 評価換算に評定割合率を乗じ、評定換算を算出する
- ⑤ 3つの評定換算値を合計する
- ⑥ 基準に従って、評定換算値の合計をもとに評定値 [5・4・3・2・1] に総括する

評定が算出できない場合

観点が1つでも欠けている場合、評定は算出できません

(4) 評価・評定の通知方法

生徒の家庭へは、学期末に通知表で評価・評定を通知します